

ガソリン税等の暫定税率の復活に対する会頭コメント

暫定税率の復活は、真に必要な道路整備が遅れている京都にとって、財源の確保という観点から歓迎すべきことだ。

ただ、ガソリン需要が高まる大型連休中での復活は、消費者に混乱を与えかねない。政府は消費者にわかりやすい情報提供に努めて、説明責任を果たしてほしい。

京都商工会議所としては、引き続き特別相談窓口を設置して、ガソリン販売など関連する中小事業者への影響を最小限にとどめるよう努めたい。

なお、衆参のねじれ現象という困難な政局といえども、環境、福祉などの国民生活に関わりの深い課題は、党派を超えた議論を通じて方針を確立する必要がある。道路特定財源の一般財源化についても、総合的な税制改革論議の中で検討を重ねてもらいたい。

平成20年4月30日

京都商工会議所

会頭 立石 義雄